


1 海老名市温故館・史跡相模国分寺跡

温故館の建物は、大正7年に海老名村役場庁舎として完成しました。郡役所様式と呼ばれる建築様式を取り入れた近代的な建物で、当時の最先端でした。

その後、市立郷土資料館「海老名市温故館」として開館、耐震補強のための移築改修を経て、平成23年4月に現在地でリニューアルオープンしました。館内では、郷土の歴史に関する資料を収集・保管しているほか、昔の家財道具などを展示しています。



温故館の目の前に広がる相模国分寺跡は、基壇などの伽藍の一部が復元され、当時の様子をうかがい知ることができます。現在は歴史公園として整備されており、来訪者の憩いの場となっています。




2 通称かっぱ橋から北部公園までの遊歩道

かっぱのお色直しも
楽しみのひとつ！



多くの方が散歩などで利用する人気の遊歩道。川側には安全柵が設置されているので、お子さんでも安心して歩くことができます。川で遊ぶ力モの姿や、季節の草花などを楽しみながら、ゆっくりと歩きたい遊歩道です。

桜は地面の浅いところから栄養を吸収します。土が固まると養分が吸えなくなってしまう可能性も。いつまでも桜を楽しむために、桜の根元などには座らないようにしてください。



ウォーキングコースには花見スポットも！




桜の木々の間を滑り降りる、全長75mのローラーすべり台が大人気！ぜひ、ご家族で足を運んでいただきたい公園です。



《北部公園》
桜の季節には、園内の目久尻川沿いの遊歩道が桜色に彩られます。広い空間ならではの開放感が特長です。

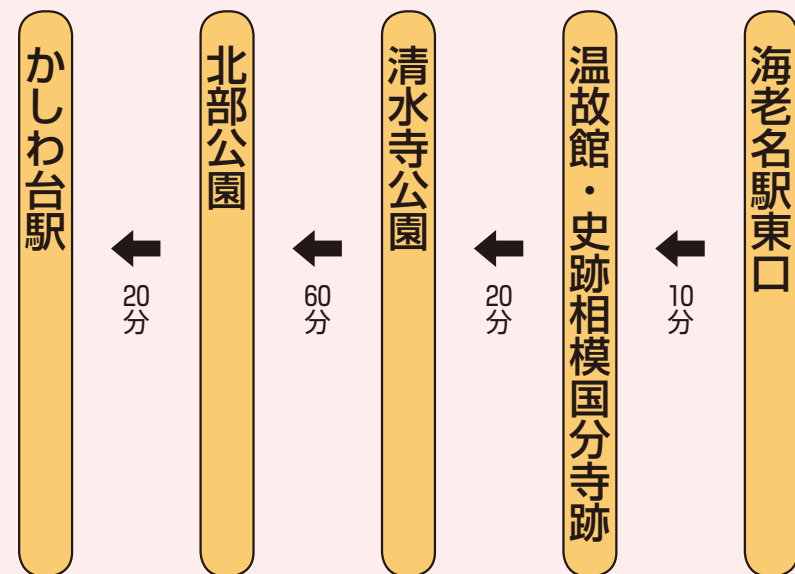


〈目久尻川沿い遊歩道〉 
川沿いの桜並木のトンネルは圧巻！毎年多くの見物客でにぎわう、市内でも人気の高い花見スポットです。

春暖のえびなを歩く

ウォーキングで健康づくりを始めてみませんか

日ごとに暖かさが増し、外出が楽しい季節となりました。
今号では、花見シーズンにもぴったりの、海老名の歴史を感じる
ウォーキングコースを紹介します。約1万歩、所要時間はおおよそ2
時間程度のコースです。（※歩数と時間は参考です）
ぽかぽか陽気に誘われて、春の海老名を歩いてみませんか。



■ ウォーキングコース

W.C …トイレ
自 …自動販売機



道幅が狭いので注意！

相模国分寺跡を過ぎ、相鉄線のかしわ台1号踏切までの区間(約350m)は、歩道がなく交通量も多い道路なので、注意して歩いてください。